

令和4年度 農作物病虫害発生予察7月月報

令和4年(2022年)8月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
7.1	27.8	24.7	3.1	32.1	29.2	2.9	24.2	21.3	2.9
7.2	27.7	25.4	2.3	33.3	30.0	3.3	24.3	21.9	2.4
7.3	27.2	26.1	1.1	32.0	30.9	1.1	23.9	22.5	1.4
7.4	26.4	26.8	△ 0.4	31.3	31.8	△ 0.5	23.2	22.9	0.3
7.5	26.8	27.3	△ 0.5	31.5	32.5	△ 1.0	23.4	23.4	0.0
7.6	29.2	27.8	1.4	34.3	33.1	1.2	25.4	23.8	1.6
平均・計	27.5	26.4	1.2	32.4	31.3	1.2	24.1	22.6	1.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
7.1	4.0	82.0	△ 78.0	23.4	17.2	6.2			
7.2	24.5	70.9	△ 46.4	21.6	19.6	2.0			
7.3	5.5	55.7	△ 50.2	17.7	23.1	△ 5.4			
7.4	172.5	46.3	126.2	22.2	26.9	△ 4.7			
7.5	8.0	41.0	△ 33.0	18.2	30.4	△ 12.2			
7.6	1.0	41.1	△ 40.1	40.5	39.6	0.9			
平均・計	215.5	337.0	△ 121.5	143.6	156.8	△ 13.2			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 5月下旬までに移植したものは、草丈はやや長く、茎数は平年並み。出穂期は平年より数日程度早くなる見込み。6月以降に移植したものは、草丈が長く、茎数もやや多い。葉齢の進捗はやや早い。
- (2) カンキツ : 着果が少ないわりに生理落果はやや多い傾向。果実肥大は良好。
- (3) ナシ : 果実肥大は回復傾向が見られ、平年並みかやや大きく推移。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2022年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ (調査ほ場数:86) いもち病 (葉いもち)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率32.6% (平成6.8%)、発病株率16.7% (平成1.6%)、発病度4.3 (平成0.4) で平年に比べ多かった。病斑の最上位葉は2.4葉 (平成2.9葉) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.9% (平成20.3%)、発病株率28.5% (平成7.8%)、発病度7.6 (平成2.1) で平年に比べ多かった。病斑の最上位葉は2.3葉 (平成2.7葉) であった。	県内全域	多 226
			中 3,844
			少 4,071
			計 8,141
紋枯病	初発生は、7月12日(平成7月20日)で平年に比べ早かった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成1.2%)、発病株率0% (平成0.1%)、発病度0 (平成0.0) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.0% (平成3.1%)、発病株率0.5% (平成0.2%)、発病度0.1 (平成0.1) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 1,357
ごま葉枯病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.8% (平成2.3%)、発病株率4.7% (平成0.6%)、発病度1.2 (平成0.1) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 226
			少 3,618
			計 3,844
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.5%)、発病株率0% (平成0.0%) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.8%)、発病株率0% (平成0.0%) で平成並みであった。	—	—
ばか苗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.2%)、発病株率0% (平成0.0%) で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.3%)、発病株率0% (平成0.0%) で平成並みであった。	—	—
黄化萎縮病 萎縮病 白葉枯病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ ヒメトビウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1% (平年25.7%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.7頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.0% (平年37.9%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.7頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 2,940
ツマグロヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7% (平年22.9%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.7頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1% (平年32.2%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.6頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 2,940
セジロウンカ	5月11日～7月25日の予察灯(4か所計)における誘殺数は117頭(平年115頭)で平年並みであった。 下層ジェット気流等の気象条件、ネットトラップ、予察灯の誘殺状況から、7月8日(少飛来)、19日(並飛来)、24日(並飛来)に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7% (平年51.4%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年6.4頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.7% (平年66.7%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年22.0頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 5,427
トビイロウンカ	5月11日～7月25日の予察灯(4か所計)における誘殺数は2頭(平年2.8頭)で、平年に比べやや多かった。 下層ジェット気流等の気象条件、予察灯の誘殺状況等から、7月19日(少飛来)に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.04頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.8%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.2頭) で平年並みであった。また、すくい取り調査により、長門市、山陽小野田市において成虫が各1頭確認された。	県内全域	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ コブノメイガ	6月6日～7月27日の山口市のフェロモントラップにおける誘殺数は0頭（平成45頭）で平成に比べ少なかった。下層ジェット気流等の気象条件とほ場における確認状況から、主な飛来波は7月8日（少飛来）であったと推測された。中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平成8.2%）、被害葉率0%（平成0.1%）、成虫払い出し虫数0頭/20回（平成0.2頭/20回）で平成並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.1%（平成22.8%）、被害株率0.6%（平成4.7%）、被害葉率0.0%（平成0.2%）、20回払い出し虫数は0.0頭（平成0.9頭）で平成並みであった。	県内全域	少 1,583
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平成1.3%）、つと数0包/10株（平成0.0包/10株）で平成並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%（平成2.0%）、25株当たりつと数0.0個（平成0.0個）で平成並みであった。	県内全域	少 226
イネヨトウ アワヨトウ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平成並みであった。	—	—
斑点米カメムシ類	中旬の雑草地20回すくい取り調査では、122頭（平成109頭）で平成並みであった。主要種では、アカスジカスミカメ83頭（平成77頭）、クモヘリカメムシ7頭（平成18頭）、ホソハリカメムシ11頭（平成5頭）であった。下旬の雑草地20回すくい取り調査では、122頭（平成131頭）で平成並みであった。主要種では、アカスジカスミカメ46頭（平成94頭）、クモヘリカメムシ12頭（平成19頭）、ホソハリカメムシ15頭（平成7頭）であった。6月26日～7月25日の予察灯（県内4か所）における主要種の誘殺数は、2,720頭（平成939頭）で平成に比べ多かった。内訳はアカスジカスミカメ2,079頭（平成780頭）、クモヘリカメムシ4頭（平成14頭）、アカヒゲホソミドリカスミカメ550頭（平成114頭）、ミナミアオカメムシ52頭（平成13頭）、イネカメムシ35頭（平成18頭）であった。	県内全域	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
イネ ニカメイガ	6月26日～7月25日の予察灯(4か所)における誘殺は認められなかった。 中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—																					
フタオビコヤガ	6月26日～7月25日の予察灯(4か所計)における誘殺数は2頭(平年22頭)で平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.7%)、0頭/10株(平年0.0頭/10株)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.7%)、株当たり虫数0頭(平年0.0頭)で平年並みであった。	県内全域	—																					
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3%(平年0.1%)、虫数0.1頭/25株(平年0.0頭/10株)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.2%)、25株当たり虫数0頭(平年0.0頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 452																					
ダイズ 吸実性カメムシ類	6月26日～7月25日の予察灯(4か所計)における主要種の誘殺数は154頭(平年24頭)で、平年に比べ多かった。内訳は、イチモンジカメムシ15頭(平年4頭)、アオクサカメムシ87頭(平年6頭)、ミナミアオカメムシ52頭(平年13頭)であった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は799頭(平年1,166頭)で平年並みであった。 フェロモントラップ(県内5か所)における6月21日～7月20日の誘殺数は1,351頭(平年2,132頭)で平年並みであった。 フェロモントラップでの誘殺数(頭)	県内全域	—																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>16</td> <td>598</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>375</td> <td>481</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>78</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>566</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>317</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※6月21日～7月20日の合計</td> </tr> </tbody> </table>		地点	本年	平年	周南市熊毛	16	598	山口市阿東	375	481	萩市明木	78	139	下関市清末	566	529	柳井市伊陸	317	383	※6月21日～7月20日の合計				
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	16	598																						
山口市阿東	375	481																						
萩市明木	78	139																						
下関市清末	566	529																						
柳井市伊陸	317	383																						
※6月21日～7月20日の合計																								

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年10.1%)、発病果率0.2% (平年0.6%)、発病度0.0(平年0.4)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	57
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年4.5%)、発病果率0.6% (平年0.4%)、発病度0.4(平年0.2)で平年並みであった。	県内全域	少	57
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年68.7%)、発病果率1.4% (平年15.6%)、発病度0.3(平年3.7)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	170
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年33.1%)、寄生葉率2.3% (平年6.3%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 少 計	57 113 170
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、被害果率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.5%)、被害果率0% (平年0.3%)で平年に比べやや少なかった。	—	—	—
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年11.5%)、寄生果率2.6% (平年0.6%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 中 少 計	57 57 57 171
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.6%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	57
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.5%)、被害果率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—	—
ルビーロウムシ、 ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (前年0%)、寄生新梢率0.1% (前年0%)であった。	県内全域	少	57

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年36.1%)、発病葉率0.2% (平年0.1%)、発病新梢率0.3% (平年2.5%) で平年並みであった。	県内全域	少 9
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年20.7%)、発病葉率0.7% (平年0.7%) で平年並みであった。	県内全域	中 11 少 11 計 22
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。 7月27日 (平年9月15日) に県予察ほ場で発生が認められ、平年に比べ早かった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年12.7%)、寄生新梢率11.1% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 22 中 11 計 33
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率46.7% (平年12.7%)、寄生葉率17.4% (平年2.4%) で平年に比べ多かった。主要種はクワオオハダニであった。	県内全域	甚 32 少 43 計 75
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年38.7%)、被害新梢率2.1% (平年7.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 32
チュウゴクナシキジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年8.1%)、寄生葉率0.2% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	少 11
ハマキムシ類	下旬の巡回調査では、発生が認められず、平年並みであった。	—	—
フタモンマダラメイガ	下旬の巡回調査では、発生が認められず、前年並みであった。	—	—
ナシヒメシंक	萩市小川のフェロモントラップにおける誘殺数は26頭 (平年28頭) で平年並みであった。	—	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	6月26日～7月25日の予察灯 (県内5か所) における誘殺数は243頭 (平年261頭) で平年並みであった。 6月26日～7月25日のフェロモントラップ (県内5か所) によるチャバネアオカメムシの誘殺数は8,080頭 (平年6,772頭) で平年に比べやや多かった。 スギ・ヒノキの穂果量調査 (県内6か所、6月下旬調査) では、スギ、ヒノキとも平年並みの着果程度であった。	県内全域	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる誘殺数は、54頭(平年83頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は799頭(平年1,166頭)で平年並みであった。 フェロモントラップ(県内5か所)における6月21日～7月20日の誘殺数は1,351頭(平年2,132頭)で平年並みであった。 <table border="1"> <caption>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</caption> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>16</td> <td>598</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>375</td> <td>481</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>78</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>566</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>317</td> <td>383</td> </tr> </tbody> </table> ※6月21日～7月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	16	598	山口市阿東	375	481	萩市明木	78	139	下関市清末	566	529	柳井市伊陸	317	383	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	16	598																			
山口市阿東	375	481																			
萩市明木	78	139																			
下関市清末	566	529																			
柳井市伊陸	317	383																			
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は66頭(平年23.7頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる誘殺数は84頭(平年18.6頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																		

<p>お問い合わせ先 山口県病害虫防除所 TEL (083)927-4006 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp</p>
